

平成24年度水俣第一中学校環境ISOの取組

Plan



環境ISO委員会
環境ISOの委員長 船原 聖也

環境ISOの本校活動目標
全校生徒が教育の使い方を理解し
節電・節水・ゴミ削減に努める

環境ISOの委員年間活動計画

月	活動内容	実施者
1	環境ISOの活動目標の理解	環境ISO委員
2	環境ISOの活動目標の理解	環境ISO委員
3	環境ISOの活動目標の理解	環境ISO委員
4	環境ISOの活動目標の理解	環境ISO委員
5	環境ISOの活動目標の理解	環境ISO委員
6	環境ISOの活動目標の理解	環境ISO委員
7	環境ISOの活動目標の理解	環境ISO委員
8	環境ISOの活動目標の理解	環境ISO委員
9	環境ISOの活動目標の理解	環境ISO委員
10	環境ISOの活動目標の理解	環境ISO委員
11	環境ISOの活動目標の理解	環境ISO委員
12	環境ISOの活動目標の理解	環境ISO委員

活動開始
期の日出し
別の日出し
ゴミステーションの指導
環境ISOの活動目標の理解

学校版環境ISO宣言項目の見直し(アンケート)

環境ISO委員会
氏名()

今年度の宣言項目についての見直しをします。昨年度を振り返って改善や修正すべきところを見つけ出して改善案を考へる。

※ 宣言項目はわかりやすく、否にならず、長続きできそうなものでなければ、活動が継続する。

<昨年度生徒版>

- ゴミの分別を行い、燃やすものをできるだけ出さないようにします。
- 上の無駄遣いをやめ、再利用できるものは再利用します。

紙のリサイクル・ゴミ分別



各クラスでプラスチックと燃やすごみに分類をしています。不要な紙類についても裏側をメモ用紙などとして活用しています。環境ISO委員会で資源が燃やすごみに混ざっていないかチェックも行っています。プラスチックや紙類の資源はもちろんリサイクルにまわしています。

前年度の反省と改善策を考え、エコ改修校舎を活用した環境にやさしい取り組みを入れながら今年度の活動計画・環境ISO宣言項目を設定しました。生徒総会で承認を経て、今年度の活動を本格化させました。

平成24年度水俣第一中学校環境ISO宣言項目
<職員版>

- 無駄な印刷を無くし、裏紙の再利用で紙の消費を抑えます。印刷用紙の使用量は昨年度の数値を維持します。
- 冷暖房の使用を節約し、冷房は28℃、暖房は20℃に設定します。電気使用量は昨年度の数値を維持します。
- 紙類を分別し、資源としてリサイクルに努め、できる限り捨てません。
- 環境を意識した美化作業、清掃活動の指導に努めます。
- 家庭での環境ISOに努めます。

平成24年度水俣第一中学校環境ISO宣言項目
<生徒版>

- コミュニケーション活動に積極的に参加し、参加率90%以上を目指します。
- ゴミの分別を行い、燃やすものをできるだけ出さないようにします。
- 紙の無駄遣いをやめ、再利用できるものは再利用します。
- 採光と室温にあわせて節電し、雨水タンク等を活用して節水に努めます。
- 家庭での環境ISOに努めます。

節水の取組



校舎のエコ改修に伴い、雨水タンクが取り付けられました。緑のカーテンへの水やりにも活用しています。掃除ではバケツに汲んだ水で、歯みがきの時は水道水を節約するためにコップ1杯の水で行うようにしています。

◎ ゴミュニケーション活動



ゴミ+コミュニケーション=コミュニケーション 一中では各地区で行われる月1回の資源分別収集に部活動よりも優先して参加しています。お年寄りの家庭などにも出向いて活動をしています。資源収集だけではなく、地域の方々との交流を深めることもこの活動の大切なねらいです。9月には分別収集の意義をもう一度確認するためにクリーンセンターから講師に来ていただき「分別収集学習会」を開催しました。今後もよりよい活動を目指します。

節電の取組



採光を考えて改築されたために教室内が全体的に明るくなりました。必要のない照明は生徒自らが判断して消しています。

地域への発信



今年度、学校公式ホームページを開
設し、福島県郡山第四中学校との交
流や本校の学校版環境ISOの取組、
「学校エコ改修と環境教育」事業に
ついて公開しています。
<http://sakura1.higo.ed.jp/jhs/minamata1stjhs/education.html>

冬

外気温よりも暖かく！

自然エネルギーの活用でCO₂削減



校舎の屋上には発電と太陽熱を取り込むパネルが設置されています。ここで温められた空気が校舎内を循環しています。教室内ではシーリングファンでゆるやかに気流をつくり、室温を一定にします。廊下には仕切りができ、暖房区画をつくることにより効率よく室内を暖めることができます。

エコ改修校舎の活用

夏

外気温よりも涼しく！



他の環境についての取組



水俣一中・二中環境委員会交流会



親子資源収集活動



エコ改修校舎活用学習会

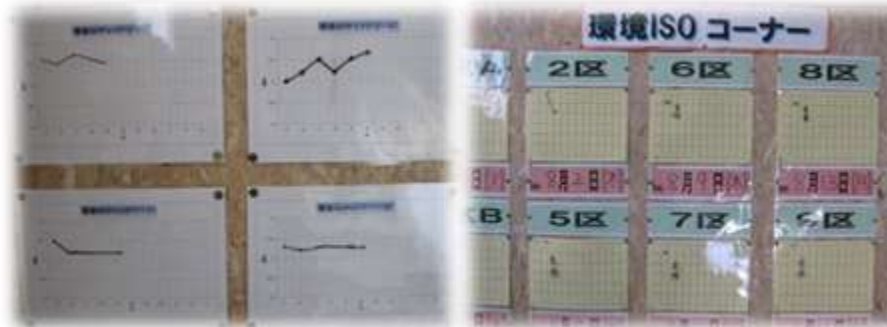
クラスごとに緑のカーテン（ゴーヤ）の水やりを行っています。ゴーヤの蒸散作用によって教室内に入ってくる空気の温度を下げる効果があります。

Check

Act



ナイトパーズといって、夕方から朝にかけて廊下と教室の窓を開けて帰ります（防犯対策・雨の降りこみ防止策あり）。教室も3連の引き戸となっており、全開し通風を確保しています。夜の放射冷却を利用して校舎内の室温を下げることをねらっています。



各クラスで毎週金曜日に取り組みについて反省をしています。コミュニケーションにおいては活動後の反省と参加率の集計を行っています。掲示コーナーをつくり、いつでもみんなの目に触れるようにして、意識づけをしています。



年度の途中で改善したコミュニケーションを周知するカードです。各クラスで環境ISO委員会が知らせています。